

令和6年度 学校評価の結果について

【家庭や社会で自立的に生きていく力を育てる指導の充実】

重点目標	取組の成果 及び 課題と今後の取組
(1)家庭生活、社会生活、職業生活につながる学習内容、指導方法の工夫をする	<ul style="list-style-type: none"> ・「興味関心」を生活につなぐ指導の有効性についての理解が深まり、加えてICT機器やアプリケーションソフトを使った学習についての研修を実施することで、更なる指導力の向上を図ることができた。 ・引き続きニーズに合った研修を実施しながら学校全体の指導力の向上を図るとともに、保護者には児童生徒一人一人についての取組を具体的に伝えていく。
(2)健康で安全に生活する意識と実践力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いやうがい等に自主的に取組むことが習慣化してきた。交通安全について学習したことを地域学習で繰り返し実践したことで、安全に対する意識が高まってきた。 ・清潔に関する習慣化については継続して指導に取り組んでいく。学校周辺の危険箇所について確認をしていき、更に安全に対する意識を高めていく。また、引き続きHPでも発信していくことで、保護者にも周知する。
(3)家庭への情報提供や連携を工夫し、学んだことを生活につなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・HPへの掲載や個人懇談等を通して児童生徒が学んだことや取組んだことを伝えることで、家庭と情報を共有しながら生活につなげることができた。 ・タブレットの持ち帰りについての活用も含め、学校で学んだことを家庭で実践できる方法をさらに工夫していく。

【人との関わり、地域との関わりを広げる指導の充実】

重点目標	取組の成果 及び 今後の課題・改善策
(1)人と関わる機会を大切にし、コミュニケーション能力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部の縦割りグループでの活動や中学部の委員会活動など、学年を超えて関わりをもつことができた。また、西中学校生による読み聞かせやボランティアによる学習補助等を通じて学校外や地域の方と接する機会をもち、人との関わりを広げることができた。 ・引き続き、校内外や地域との関わりの中で人と関わる機会を設定し、コミュニケーション能力の充実に努めていく。また、学習の様子を分かりやすく保護者に伝え、家庭と連携を図りながら取り組んでいく。
(2)地域と連携を図り、地域の人材、学校、団体、施設、イベント等を生かした学習活動を工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動や学校公開等を通じて分校の教育活動を地域に発信するとともに、地域のイベントに参加して「シウマイダンス」を披露したり、授業補助ボランティアの活用や和太鼓交流を実施するなどの学習活動を行うことができた。 ・引き続き地域に向けた情報発信を継続していくとともに、幅広い年齢層の新規ボランティア登録者を募集することにも努めていく。

【いじめ防止対策】

いじめの実態把握及びいじめに対する措置を適切に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートを実施することでいじめの早期発見に努め、組織的に対応することができた。 ・今後もいじめの未然防止、早期発見に取り組むことで、児童生徒が安心して過ごせる学校づくりに努めていく。
----------------------------	--

【全体を通して】

どの項目も概ね良い評価を得ることができた。学校と家庭とで連携しながら取組めたことが良い評価につながったと考えられる。引き続き現在の取組を継続していきながら、家庭や地域への発信を工夫し、児童生徒一人一人に対するきめ細やかな教育を実践していきたい。